

日港労連・港荷労協26春闘 速報第4号

(発行元) 日本港湾労働組合連合会書記局・港湾荷役事業関係労働組合協議会事務局
住所 144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福 3階 電話 03-3732-5503
ホームページ <http://nikkororen.jp/> (発行人 古澤 隼実)

3/12 第3回港荷交渉、回答なし！ 「回答の促進のため、 行動の自由の留保」宣言！！

1. 第3回港荷労使交渉を3月12日、中央団交終了後より東京芝浦サービスセンターにて開催した。
冒頭、港荷労協より港荷経協に対し、争議三権委譲通知をおこなった。
2. 続いて業側より、要求に対して非常に理解できるところであるが、組合の皆さんに納得して頂く回答を提示するにはまだ時間がかかっている。回答及び料金収受できる環境をつくるには港荷経協としては調査中で時間が欲しい。本日についても賃金並びにその他の要求については回答を差し控え、もうしばらく時間を頂きたいと回答があった。
3. これを受けて、組合側は内部検討をしたいとし休憩の申し入れをおこなった。
4. 休憩後、組合側から「まずはユーザーからの料金収受が大前提である」「労使共同して取り組んでいく姿勢は変わらない」「社会的に圧力をかける必要がある」と述べた上で、平和交渉を15時20分で打ち切った。そして、回答促進のため「行動の自由の留保」を宣言した。
5. 業側は次回までには、何らかの形で回答を示したいとし、第3回港荷交渉を終えた。
6. 次回の第1回港荷団交（通算4回目）については、中央団交終了後の開催を予定している。